

美濃市 橋梁長寿命化修繕計画

1. 橋梁長寿命化修繕計画とは

橋梁は、経年変化に伴い劣化や損傷が生じます。それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事(再塗装やひび割れの補修など)を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

詳しくは → [国土交通省ホームページ\(道路橋の予防保全に向けた有識者会議\)](#) へ

2. 美濃市の橋梁概況

美濃市は長良川や板取川の清流が市域を縦断し、豊かな水に恵まれた、緑豊かな自然環境を有しています。市の北中部では、河川に沿って田園集落が形成されており、南部では、低地に広がる田園と、東海北陸自動車道などの開通によって、新興住宅地や工業団地などが形成されています。

市が管理する橋梁は全部で 248 橋あり、うち 1 級市道、2 級市道及びその他の道路の中で重要な橋梁は 27 橋あります。大河川に架かる橋梁もあり、どの橋梁も地域間を結ぶ重要な橋梁であります。架設から 100 年以上経過した橋梁もあり、今後、老朽化への対応が必要となっています。

対策の優先順位は、Ⅲ判定等の橋梁の中で、迂回路がない橋梁、交通量の多い橋梁、橋長の長い橋梁、耐震補強を要する橋梁を勘案し修繕計画を立てています。

3. 新技術等の活用方針

コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム(NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新のメンテナンス技術の積極的な活用を検討します。

令和6年度までに、管理する橋梁のうち 1 橋で新技術を活用した修繕を進め、従来技術を活用した修繕と比較して 400 万円程度のコスト縮減を目指します。

4. 費用の縮減に関する具体的な方針

これまでの点検の結果、迂回路が存在し集約が可能と考えられる判定区分がⅢとなった2橋について、周辺状況や利用調査を基に、令和7年度まで集約化・撤去を目指すことで、30万円程度のコスト縮減を目指します。



炭生大橋



立花橋

